

4 点検・お手入れ

快適にお使いいただくため、メンテナンスをお願いいたします。

点 検

△注意 ボルトやネジがゆるんだままで使用すると、
本体が壊れてけがをすることがあります。

ネジのゆるみ

使用中にボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じたときは、増し締めを
していただくことが長持ちの秘訣です。早めの増し締めをお願いします。

異音の発生

ロッキング部やキャスターから異音が生じたときは、ただちに使用をやめ、
お買求めの販売店にご連絡ください。

お 手 入 れ

背もたれ・座面の裏部、脚部、肘部のお手入れ

きれいな布を水にぬらし、固く絞ってふいてください。汚れのひどいときには、
うすめた中性洗剤溶液でおふきください。

- △ シンナー、アルコール類の使用は避けてください。
変色する場合があります。
- △ アルミ材をお手入れの際は、乾いた布で水分をふき取ってください。
水分が付着したまま放置すると、さびや変色の原因となります。



布地・クッション部のお手入れ

手ではたくか、電気掃除機でほこりを吸いとってください。クッション部の
汚れがひどい場合には、新しいクッションとの交換をおすすめします。

5 故障かな?と思ったら

現象	ご対応
キャスターが転がりすぎる。	●Pタイル等の硬質の床面では、ゴム単輪又は抵抗付ウレタン双輪キャスターをご使用ください。
座が下がらない。	●ガス上下調節レバーを操作する時、座面の中央部に体重をかけていますか。●座面が最低位置になっていませんか。
座が上がらない。	●ガス上下調節レバーを操作する時、座面から腰を浮かせていますか。●座面が最高位置になっていませんか。
ガス上下調節レバーを操作しなくても座が下がる。	●ガス上下調節レバーを操作しない状態で座面が1～2cm下がる現象は、タックリングといい、着座時の衝撃を緩和する上下ガスシリンダーに備わった機能です。
ロッキングの固定ができない。	●ロッキングストッパーが「カチッ」と音がするまで操作されていますか(半がかりの状態になっていませんか)。
ロッキングストッパーが動かない	●背もたれに負荷(体重)をかけていませんか。背もたれに負荷(体重)をかけずに操作をしてください。
異常な音がある。	●ロッキング部やキャスターから異音が生じた時は、ただちに使用をやめ、お買求め先の販売店へご連絡ください。
クッション部の汚れが落ちない。	●「お手入れ」の処置をしても汚れが落ちないときは、新しいクッションもしくは縫製品とのパーツ交換をおすすめします。
背もたれ、座面にシワがある。	●長時間の着座など、使用状況によってはシワが発生することがあります。●生産のばらつきにより、微細なシワが生じることがあります。
左右の肘の高さが違う。	●生産のばらつきにより、若干の高低差が生じる時があります。

△ 不具合が直らない場合は使用を中止し、お買上げ販売店までご連絡をお願いいたします。

6 品質表示

記号の説明：■●には次の記号が入ります。 張地:PV、DL
□□には次の記号が入ります。 張地:CF
※には次の記号が入ります。 M(抵抗付ウレタン双輪キャスター)、なし(ナイロン双輪キャスター)

項目		機種	KJ-310■■■*	KJ-316■■■*	KJ-320■■■*	KJ-326■■■*	KJ-320■■■P	KJ-326■■■P
			KJ-330□□*	KJ-336□□*	KJ-340□□*	KJ-346□□*		
寸法 (単位:mm)	幅 ※脚部除く	445	540	445	540	445	540	
	奥行き ※脚部除く	560			530			
	高さ	865 ~ 980			770 ~ 885		995 ~ 1215	
	座面前縁の高さ	410 ~ 525					595 ~ 815	
	重量 (単位:kg)	11.2	13.4	10.9	13.1	15.2	17.3	
構造 部材	背部アウターシェル	ポリプロピレン						
	背部インナーシェル							
	座部アウターシェル							
	座部インナーシェル							
	肘掛け部	肘なし：－ / 肘付：ポリアミド + ガラス						
	脚羽根部	ポリアミド + ガラス						
	座受け部	金属 <鋼>						
	脚支柱部							
足掛け部	－					金属(アルミ)+ポリプロピレン		
表面加工		粉体塗装						
張り材		PV：ポリエステル100% / CF：再生ポリエステル100% / DL：ポリ塩化ビニル100%						
クッション材		ウレタンフォーム						

「家庭用品品質表示法」にもとづく表示

7 パーツ交換の方法

下記の部品は、ご使用者の手で交換できます。消耗、破損の際は、下記をよくお読みのうえ、部品を交換して末永くご使用ください。

注意の種類の規定：一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）による次のような危険性の規定に基づいています。

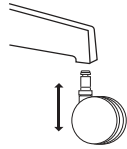
△警告 取り扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性があります。 △注意 取り扱いを誤ると傷害または物的損害が発生する可能性があります。

△安全上の注意事項 〇マークは禁止行為を表わします。 ❶このマークは行為の指示を表わします。

△警告 交換するパーツ以外は触れないでください。 △注意 パーツを交換するときは座面を最高位にして △注意 パーツ交換作業中は、手袋をしてください。指をはさむなど、けがをすることがあります。 △注意 パーツを交換するときは座面を最高位にして △注意 パーツ交換作業中は、手袋をしてください。指をはさむなど、けがをすることがあります。

キャスターの交換

- ❶ イス本体を安定した所へ横向きに置いてください。
- ❷ 脚羽根とキャスターの隙間にマイナスドライバーを差し込み、こじるように動かしてキャスターを外してください。
- ❸ 新しいキャスターをしっかりと奥まで差し込んでください。使用時に外れると、けがをするおそれがあります。



△キャスターについての注意事項

❶ キャスターは消耗品です。破損・異音等の異常が発生した場合は速やかな交換をお勧めします。

△ナイロン双輪キャスターを選ばれた時の注意事項

- ❶ Pタイルのような硬質床でナイロン双輪キャスターを使用すると、キャスターが転がりすぎて転倒してけがをするおそれがありますので、抵抗付ウレタン双輪キャスターまたはゴム単輪キャスターをお選びください。
- ❷ 軟質塩化ビニール床でのナイロン双輪キャスターの使用は避けてください。ナイロン双輪キャスターで床面にキズ・凹みが発生することがあります。

△抵抗付ウレタン双輪キャスター・ゴム単輪キャスターを選ばれたときの注意事項

- ❶ 軟質塩化ビニール床に含まれる可塑剤が、抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部や、ゴム単輪キャスターのゴムを侵し、破損・色移り等の不具合が発生する可能性があります。
- ❷ 抵抗付ウレタン双輪キャスターのウレタン部は、使用環境により大きくばらつきますが、加水分解により自然に経年劣化します。また、床面のワックス清掃時に使用される剥離剤によっても劣化が促進されますので、破損した場合は早めのキャスター交換をお勧めします。